

越境大気汚染・酸性雨対策等の最近の動向について

1. 東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）の動向

平成 22 年 11 月 23 日～24 日に新潟県新潟市において、第 12 回政府間会合が開催され、EANET の活動に関して議論が行われたほか、「EANET の強化のための文書」の採択等が行われた。

また、23 日には、松本環境大臣を含む各国閣僚級等が参加してハイレベルセグメントが開催され、日本を含む 7 カ国が「EANET の強化のための文書」への署名を行った。【別添 1 参照】

2. 日中韓三カ国による光化学オキシダントに関する研究協力

平成 19 年 12 月に開催された第 9 回日中韓三カ国環境大臣会合での合意に基づき、20 年度より毎年度、光化学オキシダントによる大気汚染メカニズムの解明や共通理解の形成に資する国際ワークショップを開催している。（22 年度は、23 年 2 月 24～25 日に中国北京で開催。）

また、平成 22 年 5 月に開催された第 12 回日中韓三カ国環境大臣会合では、オゾン汚染を含む環境協力の優先 10 分野に関する「環境協力に係る日中韓三カ国共同行動計画」が採択されている。

3. 黄砂実態解明調査※

平成 25 年度に 20～24 年度の調査結果等を総合的に取りまとめる予定。また、平成 23 年度には 20～22 年度の調査結果や解析状況等を中間報告する予定。

※黄砂実態解明調査

黄砂の飛来実態を科学的に把握するため、日本に黄砂の飛来が予想される日に併せて国内 5 地点（平成 22 年度）で一斉に浮遊粉じんを捕集し、成分分析を行う調査。

4. 日中韓三カ国による黄砂共同研究

平成 18 年に開催された第 8 回日中韓三カ国環境大臣会合での合意に基づき、20 年度より黄砂共同研究を開始。2 つのワーキンググループ※において取組が進められており、運営委員会及び局長級会合で進捗管理している。

【別添 2 参照】

また、平成 22 年 5 月に開催された第 12 回日中韓三カ国環境大臣会合では、黄砂を含む環境協力の優先 10 分野に関する「環境協力に係る日中韓三カ国共同行動計画」が採択されている。

※ワーキンググループ

- ・ワーキンググループ 1：黄砂モニタリング、早期警報システム
- ・ワーキンググループ 2：黄砂発生源対策等

東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（E AN E T） 第 12 回政府間会合の結果について（お知らせ）

平成 22 年 11 月 26 日（金）
環境省水・大気環境局大気環境課
直通：03-5521-9021
代表：03-3581-3351
課長：山本 光昭（6530）
主査：藤井進太郎（6755）
担当：八田 哲典（6547）

東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（E AN E T）の第 12 回政府間会合が、11 月 23 日（火）・24 日（水）に、新潟県新潟市で開催されました。

本会合では、E AN E T の活動に関し議論が行われたほか、「E AN E T の強化のための文書」の採択等が行われました。

また、23 日（火）には、松本環境大臣を含む各国閣僚級等が参加してハイレベルセグメントが開催され、日本を含む 7 カ国が「E AN E T の強化のための文書」への署名を行いました。

1. 会合の概要

- 日 程：平成 22 年 11 月 23 日（火）・24 日（水）
- 場 所：朱鷺メッセ（新潟県新潟市中央区万代島 6 番 1 号）
- 主催者：E AN E T 事務局（国連環境計画アジア太平洋地域資源センター）
E AN E T ネットワークセンター（アジア大気汚染研究センター）
環境省、新潟県、新潟市
- 参加者：E AN E T 参加 13 か国の代表
（カンボジア、中国、インドネシア、日本、ラオス、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、フィリピン、韓国、ロシア、タイ、ベトナム）
国連環境計画アジア太平洋地域事務所（UNEP/ROAP）、国連欧州経済委員会（UNECE）、財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）等

※東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（E AN E T）の概要については、別添 1 参照。

2. 結果の概要

本会合における主な結果は次のとおりです。

(1) 「E AN E T の強化のための文書」の採択・署名

第 7 回政府間会合（平成 17 年・新潟）の決定に基づき議論が行われてきた、「E AN E T の強化のための文書」の採択が行われました。この文書により、資金の拠出を含め、各国のより積極的な貢献が期待されます。

また、23 日（火）には松本環境大臣、カンボジア環境長官、モンゴル自然環境観光副大臣及びフィリピン環境天然資源副大臣等の参加者を得て、ハイレベルセグメントが開

催され、E A N E Tに寄せる期待が述べられるとともに、カンボジア、日本、モンゴル、ミャンマー、フィリピン、韓国及びタイの7カ国の代表が「E A N E Tの強化のための文書」への署名を行いました。なお、残る6カ国（中国、インドネシア、ラオス、マレーシア、ロシア、ベトナム）は、国内手続きが整い次第、署名する見込みです。

※別添2 「E A N E Tの強化のための文書」を採択する決定（英文及び仮訳）

※別添3 「E A N E Tの強化のための文書」（英文及び仮訳）

（2）その他の主な成果

E A N E Tの中期活動計画（2011～2015年）、2011年作業計画及び予算等が採択されました。

東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）について

1. EANET発足の背景

- 東アジア地域における近年のめざましい経済成長等に起因して、酸性雨の原因となる大気汚染物質の排出量が増加しており、今後もさらなる増加が予測されていることから、近い将来、その影響が深刻なものとなることが懸念される。
- このため、東アジア地域における酸性雨問題に関する地域協力体制の確立を目的として、2001年1月からEANETが本格稼働を開始。
- EANETは、これまで財政面・技術面ともに日本が主体となって進めてきた取組であり、我が国としてはEANETの活動の発展・拡大により、大気環境管理に向けた地域の国際協力が推進されることを重要視。

2. EANETの概要

(1) 参加国

- カンボジア（2001年から）、中国、インドネシア、日本、ラオス（2002年から）、マレーシア、モンゴル、ミャンマー（2005年から）、フィリピン、韓国、ロシア、タイ、ベトナムの計13カ国

(2) 活動目的

- 東アジア地域における酸性雨問題の状況に関する共通理解の形成促進。
- 酸性雨防止対策に向けた政策決定に当たっての基礎情報の提供。
- 東アジア地域における酸性雨問題に関する国際協力の推進。

(3) 活動の概要

- 共通の手法を用いた酸性雨モニタリングの実施（注：大気汚染物質のモニタリングも実施）
- データの収集、評価、保管及び提供
- 精度保証・精度管理（QA/QC）活動の推進
- 参加国への技術支援と研修プログラムの実施
- 調査研究、普及啓発活動の推進
- 関係国際機関との情報交換

(4) EANET事務局とネットワークセンター

UNEPアジア太平洋地域資源センター（RRC.AP）（タイ）がEANET事務局、アジア大気汚染研究センター（新潟市内）が技術的対応を行うネットワークセンターに指定されている。

(5) 最近の動向

- 2005年に開催された第7回政府間会合において、EANETへの財政的貢献のための健全な基盤を提供する文書について議論を開始し、その結果を2008年の第10回政府間会合に報告するとの決定を採択（新潟決定）。
- 2008年の第10回政府間会合において、法的拘束力はないが、ハイレベルが署名する文書を念頭にさらに検討を行うこととされたことを踏まえ、2009年の第11回政府間会合では、残された論点等について審議を行い、次回政府間会合で予定される署名に向けて各国が文書の最終テキストを国内手続に付すことで一致。
- 2010年の第12回政府間会合において、「EANETの強化のための文書」を採択し、カンボジア、日本、モンゴル、ミャンマー、フィリピン、韓国及びタイの7カ国が署名。残る6カ国も国内手続が整い次第、署名する見込み。

DECISION 1/IG.12

**INSTRUMENT FOR STRENGTHENING THE
ACID DEPOSITION MONITORING NETWORK IN EAST ASIA (EANET)**

The Twelfth Session of the Intergovernmental Meeting (IG12) on the Acid Deposition Monitoring Network in East Asia (EANET), on 23-24 November 2010 in Niigata, Japan,

Recognizing that East Asia is facing the risks of problems related to acid deposition,

Acknowledging that thirteen countries in East Asia are participating in EANET and have been successfully working together to conduct acid deposition monitoring and to implement other activities for EANET, based on the Joint Announcement on Implementation of the Acid Deposition Monitoring Network in East Asia (JA) adopted by the participating countries and Tentative Design of EANET (TD) referred to in JA,

Taking into account the discussions at the sessions of the Intergovernmental Meeting as well as the Working Group on Future Development (WGFD) of EANET,

Reaffirming its willingness to continue the activities of EANET,

1. Adopts the “Instrument for the Strengthening the Acid Deposition Monitoring Network in East Asia (EANET)” for signing in the High Level Segment during IG12 and thereafter, (attached to this decision).
2. Decides that the Instrument will become operational on the date on which all participating countries have signed it, or on 1st January 2012, whichever is earlier;
3. Encourages participating countries that will not be able to sign the Instrument by the specified date to communicate in writing with the EANET Secretariat before IG13 expressing their willingness to continue their EANET activities;
4. Decides that IG13 will consider the nature of involvement of the countries that are unable to sign by the specified date.

決定 1/IG. 12

(仮訳)

東アジア酸性雨モニタリング・ネットワーク (EANET) の強化のための文書

2010年11月23日から24日まで日本国新潟市において開催された東アジア酸性雨モニタリング・ネットワーク (EANET) 第12回政府間会合 (IG12) は、

東アジアが酸性雨に関連した問題のリスクに直面していることを認識し、

東アジアの13か国が EANET に参加し、参加国により採択された「EANET の実施に関する共同声明」及び共同声明において言及がなされている「EANET の暫定的な設計」を基礎として、酸性雨のモニタリング及び EANET のためのその他の活動を実施するため、成功裏に協働してきたことを認め、

EANET の政府間会合及び将来発展作業部会における議論を考慮し、

EANET の活動を継続する意思を確認し、

1. IG12 の間のハイレベル・セグメント及びその後の署名のため、「東アジア酸性雨モニタリング・ネットワーク (EANET) の強化のための文書」を採択する (本決定に添付)。
2. EANET の強化のための文書が、すべての参加国が署名した日、又は、2012年1月1日のいずれか早い方に運用開始となることを決定する。
3. 所定の日までに文書に署名できない参加国に対し、自らの EANET の活動を継続する意思を表明する書面を第13回政府間会合 (IG13) の前に EANET 事務局に送付することを奨励する。
4. 所定の日までに署名を行ない得ない国々の参加のあり方について IG13 において検討を行うことを決定する。

Instrument for Strengthening the Acid Deposition Monitoring Network in East Asia
(EANET)

The Participating Countries to this Instrument,

Recognizing that East Asia is facing the risks of problems related to acid deposition,

Recalling that Agenda 21, adopted at the United Nations Conference on Environment and Development in 1992, stated that the experiences of the programs on transboundary air pollution in Europe and North America needed to be shared with other regions of the world,

Acknowledging the successful operation of the preparatory-phase activities of the Acid Deposition Monitoring Network in East Asia (EANET), which was undertaken by ten countries in East Asia from 1998 to 2000, following the common understanding expressed at the First Session of the Intergovernmental Meeting on 19-20 March 1998 in Yokohama, Japan,

Recognizing that the EANET was established in January 2001 as an important initiative for regional cooperation, aiming at creating a common understanding on the state of acid deposition problems, at providing useful inputs to policy makers at various levels, and at contributing to cooperation on the issues related to acid deposition among the participating countries,

Acknowledging that thirteen countries in East Asia are participating in the EANET and have been successfully working together to conduct acid deposition monitoring and to implement other activities for the EANET, based on the Joint Announcement on Implementation of the Acid Deposition Monitoring Network in East Asia (JA) adopted by the participating countries and Tentative Design of the EANET (TD) referred to in JA,

Emphasizing that activities of the cooperative network on the acid deposition in East Asia under the EANET have been developed by taking a step-wise approach by the participating countries on a voluntary basis,

Recognizing the need to promote cooperation for the monitoring of acid deposition in East Asia,

Also recognizing that the Instrument should be simple, flexible, open for future development and be based on the JA, TD and other decisions of the Intergovernmental Meeting (IG),

Emphasizing the importance of appropriate financial arrangement for the sound operation of the EANET with a view to sustaining the development of the EANET, strengthening the financial mechanism of the EANET and providing a sound basis for financial contribution to the EANET and enhancing capacity building of acid deposition monitoring for all the participating countries of the EANET,

Noting the fact that the effective realization of the EANET activities since the commencement of the EANET activities has been supported by voluntary contributions of some participating countries, covering the activities of the EANET Secretariat and the core activities of the Network Center which annually consisted of about one million US dollars, and expressing great appreciation to the Governments of these countries,

Noting that the participating countries of the EANET will be guided, in the implementation of this Instrument, by the principles that the use of financial contribution should produce effective outcomes, and that the related executive bodies should take necessary measures to improve efficiency of contribution,

Determined to renew their willingness to continue the activities of the EANET as set out in the TD,

Have agreed as follows:

Item 1

Definition

“Acid deposition” in this Instrument means deposition of major acidifying species and related chemical substances.

Item 2

Objectives and Scope

1. The objectives and scope of this Instrument are:
 - a) to create a common understanding of the state of acid deposition problems in East Asia;
 - b) to provide useful inputs for decision-making at local, national and regional levels aimed at preventing or reducing adverse impacts on the environment caused by acid deposition; and
 - c) to contribute to cooperation on the issues related to acid deposition among the Participating Countries.
2. The scope of this Instrument may be extended, as decided by the IG.

Item 3

Principles

1. The Participating Countries will, in the spirit of solidarity and partnership and in accordance with their respective needs, capabilities and situations, strengthen cooperation to monitor acid deposition.
2. The Participating Countries will be encouraged to take appropriate measures to monitor acid deposition to minimize its adverse impacts, taking into account the precautionary principle.

3. The Participating Countries will promote active participation, and bilateral and multilateral cooperation for effective implementation of the activities under this Instrument.

Item 4

Monitoring and Reporting

1. The Participating Countries will implement and strengthen their monitoring activities in line with this Instrument.
2. Each Participating Country will designate a national center, which is responsible for implementing the monitoring activities provided for in this Instrument.
3. Each Participating Country will develop and implement its national monitoring plan. Monitoring of acid deposition will be implemented in accordance with the monitoring guidelines, technical manuals and other technical documents adopted by the IG.
4. Each Participating Country will report the monitoring data and other relevant information to the Network Center (NC), in accordance with the guidelines adopted by the IG.
5. In order to obtain high quality monitoring data, the quality assurance/quality control (QA/QC) programs adopted by the Scientific Advisory Committee (SAC), will be implemented by the NC in full collaboration among the Participating Countries for monitoring activities under this Instrument.
6. The monitoring data and other information submitted by the Participating Countries will be compiled, stored and analyzed by the NC.
7. The data and other information compiled through the EANET activities will be provided to individuals, organizations and non-member countries, in accordance with the procedures adopted by the IG.

Item 5

Assessment

1. The monitoring data and other information submitted by the Participating Countries will be analyzed, evaluated and assessed.
2. Periodic assessment reports on the state of acid deposition in East Asia will be prepared based on the data reports, disseminated and made available to the public.

Item 6

Research Activities

1. The Participating Countries will promote studies on scientific issues related to acid deposition.
2. Research activities should be mutually reinforcing and supportive with existing regional, sub-regional and national initiatives in East Asia. Collaboration should be promoted with other international monitoring networks and programs.

Item 7

Education and Training

The Participating Countries, in collaboration with the NC and the Secretariat, will promote and cooperate in developing and implementing education/training programs to implement this Instrument.

Item 8

Public Awareness

The Participating Countries will promote and cooperate in:

- 1) development and implementation of public awareness programs on acid deposition;
and
- 2) improvement of public access to information on acid deposition and its effects.

Item 9

Exchange of Information

The Participating Countries will promote and cooperate in the exchange of information related to acid deposition including scientific, technological, technical, socio-economic and legal information as well as information on administrative measures,

Item 10

Intergovernmental Meeting

1. The IG, composed of the representatives of all Participating Countries, is the decision-making body of the EANET. The tasks of the IG include, among others, the following:
 - a) review and approval of the work program and budget of the EANET;
 - b) review of implementation of the work program;
 - c) review and approval of periodic assessment reports on the state of acid deposition in East Asia;
 - d) establishment of subsidiary bodies as necessary and appropriate;
 - e) review and approval of scientific, technical, administrative and financial matters including financial reports for the management of the EANET and the scope of administrative and operation costs of the Secretariat and the NC for their respective EANET activities;
 - f) provision of necessary instructions and guidance to the Secretariat and the NC based on the audit reports provided by independent auditing agencies;
 - g) adoption of the rules of procedures for the IG and subsidiary bodies, including the SAC;
 - h) provision of necessary instructions and guidance to the subsidiary bodies, the Secretariat and the NC on their activities; and
 - i) decision on other matters related to the management of the EANET and implementation of the work program.
2. The IG will meet annually, unless otherwise decided.

Item 11

Secretariat

1. The Secretariat, for the effective management of the EANET and to facilitate cooperation among the Participating Countries in a transparent manner, will carry out the following tasks under the guidance of the IG:
 - a) necessary administrative arrangements for the meetings of the IG, the SAC, and other subsidiary bodies;
 - b) necessary administrative and financial arrangements for managing the EANET;
 - c) communication and cooperation in administrative and policy aspects as the focal point of the EANET;
 - d) promotion of capacity building and public awareness in cooperation with the NC; and
 - e) other necessary tasks as requested by the IG.
2. The entity currently serving as the Secretariat for EANET is designated as the Secretariat, unless otherwise decided by the IG.

Item 12

Scientific Advisory Committee

1. The SAC, composed of scientific and technical experts from the Participating Countries, will advise and assist the IG with various scientific and technical matters related to the EANET activities as mandated to it by the IG. These matters will include the following:
 - a) scientific and technical aspects for the EANET;
 - b) development and revision of the monitoring guidelines and technical manuals;
 - c) matters related to the selection of monitoring sites, QA/QC programs, data reporting procedures and formats;
 - d) matters related to collection, evaluation, assessment and analysis of monitoring data;
 - e) preparation of periodic assessment reports on the state of acid deposition in East Asia, based on, but not limited to the data compiled by the NC;
 - f) matters related to studies on acid deposition; and
 - g) other scientific matters as requested by the IG.
2. If the Committee considers it necessary for fulfilling its objectives, experts from countries other than the Participating Countries may be invited to assist the Committee.

Item 13

Network Center

1. The NC, to handle scientific and technical matters of the EANET activities and to facilitate cooperation among the Participating Countries in a transparent manner, will carry out the following tasks under the guidance of the IG:
 - a) central compilation, evaluation, storage and analysis of monitoring data and related information;
 - b) preparation of data reports on acid deposition in East Asia;
 - c) dissemination of monitoring data and other relevant information;
 - d) provision of technical assistance to the Participating Countries in implementing the EANET activities;
 - e) implementation and coordination of QA/QC activities;
 - f) development and implementation of education/training programs for those engaged in the EANET activities;
 - g) implementation of research activities on acid deposition;
 - h) provision of scientific and technical support for the IG, the SAC and other subsidiary bodies;
 - i) promotion of capacity building and public awareness in cooperation with the Secretariat; and
 - j) other tasks as requested by the IG.
2. The entity currently serving as the NC for EANET is designated as the NC, unless otherwise decided by the IG.
3. Other entities could be designated as Network Centers for EANET by the decision of the IG, as the need arises.

Item 14

Financial Arrangement

1. The administrative and operational cost of the national monitoring activities within each country will be borne by each country as contribution to the EANET.
2. The administrative and operational costs of the Secretariat and the NC for their respective EANET activities will be financed by voluntary contributions from the Participating Countries.
3. Participating Countries are encouraged to make voluntary financial contributions, taking into account their economic and financial circumstances, in accordance with the

respective national laws and regulations and within the limit of their respective budgetary appropriations. The Participating Countries may provide additional financial and in-kind contributions on a voluntary basis.

4. The Participating Countries are invited to draw attention to the estimated financial amount in order to implement the activities under this Instrument, and to the burden sharing practices in the United Nations system.
5. Procedures and guidelines for the transfer of financial contributions will be developed and adopted by the IG. The financial contributions and the interest from financial contributions will be administered by the Secretariat under the guidance of the IG.
6. EANET will be open to financial and in-kind contributions from other sources including international and regional organizations and non-governmental organizations (NGOs), subject to the approval of the IG for the implementation of the EANET activities.
7. The annual financial reports, and annual audit reports prepared by independent audit agencies will be submitted to the IG by the Secretariat and the NC for their respective EANET activities.

Item 15

Revisions or Modifications

1. Any revisions or modifications to any part of this Instrument may be proposed in writing by any Participating Country to be considered and adopted by the IG in consensus.
2. Subject to the official written consent by all Participating Countries, the revision or modification adopted by the IG will form part of this Instrument.

Item 16

End of Participation

A Participating Country may cease its participation in the EANET at any time by giving official written notice of such intention to the Secretariat.

Item 17

Participation of Other Countries

Countries in East Asia, which includes Northeast Asia and Southeast Asia, not participating in the EANET, may subsequently submit to the Secretariat an application for participation, which is subject to approval by the IG.

In accordance with the laws and regulations of the respective Participating Countries, this Instrument is signed by the designated or authorized representatives hereunder:

Signature

Title

Government Organization

Country

Date

東アジア酸性雨モニタリング・ネットワーク(EANET)の強化のための文書 (仮訳)

本文書への参加国は、

東アジアが酸性雨に関連した問題のリスクに直面していることを認識し、

1992年の国連環境開発会議において採択されたアジェンダ 21において、欧州及び北米における越境大気汚染に関するプログラムの経験を世界の他の諸地域と共有する必要がある旨が述べられていることを想起し、

1998年3月19日及び20日に日本国横浜市で開催された第1回政府間会合において表明された共通理解に従って、1998年から2000年まで東アジアの10か国が取り組んだ東アジア酸性雨モニタリング・ネットワーク(以下「EANET」)の試行稼働が成功裡に行われたことを認め、

EANETが、東アジアにおける酸性雨問題の状況に関する共通理解の形成、様々なレベルの政策当局者に対する有益なインプットの提供及び酸性雨問題に関する参加国間の協力への貢献を目的とした地域協力のための重要なイニシアチブとして2001年1月に設立されたことを認識し、

東アジアの13か国がEANETに参加し、参加国により採択された「EANETの実施に関する共同声明」(以下「共同声明」)及び共同声明において言及がなされている「EANETの暫定的な設計」(以下「暫定設計」)を基礎として、酸性雨のモニタリング及びEANETのためのその他の活動を実施するため、成功裏に協働してきたことを認め、

EANETの下での東アジアにおける酸性雨に関する協調ネットワークの活動は、参加国が段階的アプローチをとりつつ、自発的に発展してきたことを強調し、

東アジアにおける酸性雨モニタリングのための協力を推進する必要性を認識し、

また、文書が、共同声明、暫定設計及びその他の政府間会合の諸決定を基礎とし、簡潔、柔軟かつ将来の発展に向けてオープンなものであるべきことを認識し、

EANET を持続的に発展させ、EANET の財政メカニズムを強化し、EANET への資金拠出のための健全な基礎を提供するとともに、すべての EANET 参加国のために酸性雨モニタリングに係る能力構築の強化を図っていく上で、EANET の健全な運用のための適切な財政措置が重要であることを強調し、

EANET の活動開始以来、EANET の活動の効果的な実施は、毎年約 100 万米ドルに上る EANET 事務局及びネットワーク・センターの中核的な活動を賄ういくつかの参加国からの自発的な資金拠出によって支援されてきたという事実留意するとともに、これらの国々の政府に対し多大なる謝意を表しつつ、

本文書の実施に際し、EANET 参加国が、拠出された資金が効果的な成果を生み出すべきであり、関係実施機関が拠出効率の改善のために必要な措置を講ずるべきであるという原則に従うことに留意し、

暫定設計に定められた EANET の活動を引き続き実施する意向を新たにすることを決定し、

以下のとおり意見の一致を見た。

第 1 項 定義

本文書において、「酸性雨」とは、主要な酸性化物質及び関連する化学物質の沈着をいう。

第 2 項 目的及び対象範囲

1. 本文書の目的及び対象範囲は、以下のとおり。
 - a) 東アジアにおける酸性雨問題の状況に関する共通理解を形成すること。
 - b) 酸性雨によって引き起こされる環境への悪影響を防止し、又は減少させることを目的とした地方レベル、国家レベル及び地域レベルでの意思決定のための有益なインプットを提供すること。
 - c) 酸性雨に関連した諸問題に関する参加国間の協力に貢献すること。
2. 本文書の対象範囲は、政府間会合の決定により拡大することができる。

第3項 原則

1. 参加国は、連帯及びパートナーシップ精神の下、各国それぞれの必要性、能力及び状況に応じて、酸性雨のモニタリングに関する協力を強化する。
2. 参加国は、予防原則を考慮し、酸性雨の悪影響を最小限にすべく、酸性雨をモニタリングするための適切な措置をとることが奨励される。
3. 参加国は、本文書の下での活動を効果的に実施するため、積極的な参加、並びに二国間及び多数国間の協力を推進する。

第4項 モニタリング及び報告

1. 参加国は、本文書に従ってモニタリング活動を実施し、強化する。
2. 各参加国は、本文書のためのモニタリング活動の実施について責任を有する国内センターを指定する。
3. 各参加国は、国内モニタリング計画を策定し、実施する。酸性雨のモニタリングは、政府間会合により採択されたモニタリング・ガイドライン、技術マニュアル及びその他の技術資料に基づき実施される。
4. 各参加国は、政府間会合により採択されたガイドラインに基づき、モニタリング・データ及びその他の関連情報をネットワーク・センターに報告する。
5. 質の高いモニタリング・データを得るべく、本文書の下でのモニタリング活動のため、科学諮問委員会により採択された精度保証・精度管理（QA/QC）プログラムが、参加国間で十分な連携を行いつつ、ネットワーク・センターにより実施される。
6. 参加国から提出されたモニタリング・データ及びその他の情報は、ネットワーク・センターにより収集、蓄積及び解析される。
7. EANET の活動を通じて収集されたデータ及びその他の情報は、政府間会合により採択された手続に従い、個人、組織及び非参加国に提供される。

第5項 評価

1. 参加国により提出されたモニタリング・データ及びその他の情報は、解析及び評価される。
2. 東アジアにおける酸性雨の状況に関する定期評価報告書は、データ報告書に基づき作成され、配布され、一般の利用に供される。

第6項 調査研究活動

1. 参加国は、酸性雨に関連する科学的な諸問題についての研究を推進する。
2. 調査研究活動は、東アジアにおける既存の地域レベル、準地域レベル及び国家レベルの諸イニシアチブと相互に補強し、支援し合うものでなければならない。また、他の国際的なモニタリング・ネットワーク及びプログラムとの連携が推進されなければならない。

第7項 教育及び訓練

参加国は、ネットワーク・センター及び事務局と連携しつつ、本文書を実施するための教育・訓練プログラムを推進し、その開発及び実施について協力する。

第8項 普及啓発

参加国は、以下を推進し、それについて協力する。

- 1) 酸性雨に関する普及啓発プログラムの開発及び実施。
- 2) 酸性雨及びその影響に関する情報への一般のアクセスの改善。

第9項 情報交換

参加国は、科学的、技術的、社会経済的及び法的な事項、並びに行政上の措置に関する情報を含め、酸性雨に関連する情報の交換を推進し、それについて協力する。

第10項 政府間会合

1. すべての参加国の代表からなる政府間会合は、EANET の意思決定機関である。政府間会合の任務には、特に以下が含まれる。
 - a) EANET 事業計画及び予算の検討及び承認。
 - b) 事業計画の実施状況の検討。
 - c) 東アジアにおける酸性雨の状況に関する定期評価報告書の検討及び承認。
 - d) 必要かつ適切な場合における補助機関の設置。
 - e) EANET の運営のための会計報告書、並びに、事務局及びネットワーク・センターの各々の EANET の活動に係る管理経費及び事業経費の範囲を含む、科学上、技術上、管理上、財政上の諸事項についての検討及び承認。
 - f) 独立の監査機関から提供された監査報告書に基づく、事務局及びネットワーク・センターに対する必要な指示及びガイダンスの付与。
 - g) 政府間会合及び科学諮問委員会を含む補助機関の手続規則の採択。

- h) 補助機関、事務局及びネットワーク・センターの活動に関する必要な指示及びガイダンスの付与。
 - i) EANET の運営及び事業計画の実施に関連したその他の事項についての決定。
2. 政府間会合は、別段の決定がなされない限り、年 1 回開催する。

第 11 項 事務局

1. 事務局は、EANET の効果的な運営及び透明性のある方法での参加国間の協力の促進のため、政府間会合のガイダンスの下で以下の任務を実施する。
- a) 政府間会合、科学諮問委員会及びその他の補助機関の会合の開催に必要な管理上の業務。
 - b) EANET の運営に必要な管理上及び財政上の業務。
 - c) EANET のフォーカル・ポイントとしての管理上及び政策上の側面からの連絡及び協力。
 - d) ネットワーク・センターとの協力の下での能力構築及び普及啓発の促進。
 - e) 政府間会合の要請に基づくその他の必要な任務。
2. 政府間会合により別段の決定がなされない限り、現在 EANET の事務局としての業務を行っている機関が事務局として指定される。

第 12 項 科学諮問委員会

1. 科学諮問委員会は、参加国の科学的・技術的な専門家から構成され、政府間会合によって与えられたマンデートに従い、EANET の活動に関連する様々な科学的・技術的事項について政府間会合に助言を行い、支援する。そのような事項には、以下が含まれる。
- a) EANET における科学的・技術的な側面。
 - b) モニタリング・ガイドライン及び技術マニュアルの策定及び改訂。
 - c) モニタリング地点の選定、QA/QC プログラム、データ報告の手順及び様式に関連する事項。
 - d) モニタリング・データの収集、評価及び解析に関する事項。
 - e) ネットワーク・センターにより収集されたデータ及びその他のデータに基づく東アジアにおける酸性雨の状況に関する定期評価報告書の作成。
 - f) 酸性雨に関する研究に関連する事項。
 - g) 政府間会合の要請に基づくその他の科学的な事項。
2. 科学諮問委員会がその目的を達成するために必要と認める場合には、同委員会を支援するため、参加国以外の国々から専門家を招くことができる。

第 13 項 ネットワーク・センター

1. ネットワーク・センターは、EANET の活動の科学的・技術的な事項を取り扱い、透明性のある方法での参加国間の協力を促進するため、政府間会合のガイダンスの下で以下の任務を実施する。
 - a) モニタリング・データ及び関連情報の一元的な収集、評価、蓄積及び解析。
 - b) 東アジアにおける酸性雨に関するデータ報告書の作成。
 - c) モニタリング・データ及びその他の関連情報の提供。
 - d) EANET の活動の実施における参加国への技術支援の提供。
 - e) QA/QC 活動の実施及び調整。
 - f) EANET の活動に従事する者に対する教育・訓練プログラムの開発及び実施。
 - g) 酸性雨に関する調査研究活動の実施。
 - h) 政府間会合、科学諮問委員会及びその他の補助機関の会合のための科学的・技術的な支援の提供。
 - i) 事務局との協力の下での能力構築及び普及啓発の促進。
 - j) 政府間会合の要請に基づくその他の任務。
2. 政府間会合により別段の決定がなされない限り、現在 EANET のネットワーク・センターとしての業務を行っている機関がネットワーク・センターとして指定される。
3. 必要が生じた場合には、政府間会合の決定により、他の（複数の）機関を EANET のネットワーク・センターに指定することができる。

第 14 項 財政措置

1. 各国の国内モニタリングに関する管理経費及び事業経費は、EANET への貢献として、各参加国が負担する。
2. 事務局及びネットワーク・センターの各々の EANET の活動に係る管理経費及び事業経費は、参加国からの自発的な資金拠出によって賄われる。
3. 参加国は、その経済的・財政的な状況を考慮し、各々の国内法令に従い、かつ、各々の予算の範囲内において、自発的な資金拠出を行うことが奨励される。参加国は、自発的に追加的な資金拠出及び現物での貢献を行うことができる。
4. 参加国は、本文書の下での活動を実施するための資金額の積算及び国際連合システムにおける資金分担の慣行に注意を払うよう招請される。
5. 資金拠出の支払いのための手続及びガイドラインが策定され、政府間会合によって採択される。拠出金及び拠出金から生ずる利息は、政府間会合のガイダンスの

下で事務局によって管理される。

6. EANET は、その活動の実施のため、政府間会合の承認が得られることを条件として、国際的・地域的組織及び非政府組織を含む他の資金源からの資金拠出及び現物による貢献を受け入れることができる。
7. 事務局及びネットワーク・センターの各々の EANET の活動に係る年次会計報告書及び独立の監査機関によって作成された年次監査報告書が、事務局及びネットワーク・センターから政府間会合に提出される。

第 15 項 改訂又は修正

1. いずれの参加国も、書面により、本文書のいかなる部分の改訂又は修正を提案することができる。それは、政府間会合によって検討され、全会一致で採択される。
2. 政府間会合によって採択された改訂又は修正は、すべての参加国から公式の書面による同意が得られることを条件として、本文書の一部となる。

第 16 項 参加の終了

参加国は、公式の書面により事務局にその意向を通報することにより、いつでも EANET への参加を終了することができる。

第 17 項 他の国々の参加

北東アジア及び東南アジアを含む東アジアの国々のうち、EANET に参加していない国は、参加申請書を事務局に提出することができる。その参加は、政府間会合による承認が得られることを条件とする。

本文書は、各々の参加国の国内法令に従って、指定され、又は権限を付与された代表者によって以下のとおり署名される。

署名

肩書

政府機関名

国名

日付

日中韓三カ国による黄砂共同研究について

1. 最近の動向

- ・平成22年 3月 第5回日中韓三カ国黄砂局長会合（札幌）
- ・平成22年11月 第3回ワーキンググループ1会合（韓国）
- ・平成22年12月 第3回ワーキンググループ2会合（中国）
- ・平成23年 1月 第5回黄砂共同研究運営委員会（韓国）

2. 研究内容

◆ワーキンググループ1：黄砂モニタリング、早期警報システム

- ・黄砂事例について、観測データの共有とモデル予測結果の比較
- ・共同フィールドキャンペーンの実施
- ・成果の発表（共同で学会誌に報告）

◆ワーキンググループ2：黄砂発生源対策等

- ・植生回復技術の収集・評価
- ・専門家グループのリスティングと特定分野の情報交流
- ・国際セミナーによる知見の構築（最新の技術等に関するケーススタディ等）

3. 日本のワーキンググループメンバー

ワーキンググループ1		ワーキンググループ2	
西川雅高	国立環境研究所 室長	吉川 賢	岡山大学 教授
杉本伸夫	国立環境研究所 室長	大黒俊哉	東京大学 准教授
鵜野伊津志	九州大学 教授	山中典和	鳥取大学 教授
三上正男	気象研究所 部長		
眞木貴史	気象研究所 主任研究官		
山田和孝	気象庁 推進官		

4. 今後の予定

- ・平成23年 3月 第6回日中韓三カ国黄砂局長会合（韓国）
- 6月 ワーキンググループ2会合（中国・内蒙古自治区ナイマン）
- 秋頃 第4回ワーキンググループ1会合（中国）
- 第4回ワーキンググループ2会合（日本）